

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70049
事業名	特別支援教育地域相談推進費					
評価担当課	所 属	教)学校教育部 教育推進課			電話番号	011-671-3249
施策名	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業 内 容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	近年、義務教育段階の児童生徒数が減少する一方、特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室で学ぶ児童生徒や、通常の学級でも困りを抱えている児童生徒が増えており、本市においても毎年、3000件を超える教育相談実績がある。また、学校において教育相談や支援を担う特別支援教育コーディネーターの養成や、近年増えている帰国・外国人児童生徒の日本語の困りに関わる相談対応など、多様な困りに係る総合的な教育相談の充実、札幌市の特別支援教育の推進を図る必要がある。					
	事業内容 （何を実施し）	児童生徒の多様な困りに係る総合的な教育相談を実施するとともに、特別支援教育に関わる教職員の研修を行う。					
	どのような状態にしたい （状態を維持したい）	適切な支援情報等を提供することで、相談者の困りの改善を図るとともに、実践的な研究・研修を充実させることで、教員の専門職としての力量の向上を図る。					
	他都市の状況	・全ての政令市に教育センターと教育相談を担う部署が設置されている。 ・令和3年度に東京都では総合的な相談・支援体制を目指す世田谷区総合教育センターが設立された。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
令和4年度決算額		0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工	
令和5年度予算額		47,000 千円	うち特定財源	181 千円	正規職員業務量	2 人工	
令和5年度決算額		46,338 千円	うち特定財源	138 千円	正規職員業務量	2 人工	
令和6年度予算額		77,000 千円	うち特定財源	346 千円	正規職員業務量	2 人工	
指標	アウトプット 活動指標1	年間行った教育相談の件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3037件	3400件	3484件	4300件	4400回件	4500件
	↓						
	アウトカム 成果指標1	2回以上相談した件数の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		32.10%	37.00%	36.70%	42.00%	43.00%	44.00%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	相談枠に余裕がなく、2回以上来所して相談を促すことができなかったことや、再来所までの間隔が空きすぎて希望する相談者がいなかったため。相談枠を増やし、希望日に相談を入れらえるようにする。					
	アウトプット 活動指標2	職員研修の実施件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		8回	9回	9回	10回	11回	12回
	↓						
	アウトカム 成果指標2	電話予約から実際に来所につながるまでの日数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		50.5日	40日	50.4日	30日	29日	28日
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	相談枠に対して、予約の件数が多かったため。相談枠を増やし、職員研修も増やすことで、相談者を待たせずにニーズに応じた相談を実施することができる。					
今年度の見直し内容	早期の相談・支援につなげられるように、相談体制を市内3か所で6相談体制から9相談体制に増やし、早期の相談につながる体制整備を行った。						
来年度以降の方向性	事業内容の効果検証を踏まえて、適切な予算執行に努める。						